

TUMSAT-OACIS Repository - Tokyo

University of Marine Science and Technology

(東京海洋大学)

Study on market system of reef-associated
seafood in Lingayen Gulf, Philippines

メタデータ	言語: eng 出版者: 公開日: 2021-06-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Milan Shielameh Peralta メールアドレス: 所属:
URL	https://oacis.repo.nii.ac.jp/records/2110

【課程博士】（博士論文審査及び最終試験の結果要旨）

学生氏名：ミラン・シラメ・ペラルタ

博士論文題目：Study on market system of reef-associated seafood in The Lingayen Gulf, Philippines（リンガエン湾（フィリピン）の珊瑚礁域産水産物の流通システムに関する研究）

博士論文審査：

学生から提出された博士論文について、公開発表会が2020年2月18日に行われ審査委員と学生の間で質疑応答が行われ、その内容が博士論文としての質を十分に確保しているとの結論に至った。

途上国における沿岸漁業は大部分が小規模であり、その漁獲物は地域住民による消費を前提としている。従って一般的には沿岸漁業者の所得は極めて低く、フィリピンでも漁獲量の減少、代替収入源の少なさ、有効な販売先確保の困難性などから、沿岸漁業者は最貧困層と位置づけられている。

本研究では、フィリピン北西部のリンガエン湾に面した4つの地域（Anda, Bolinao, Alaminos, San Fernando）において珊瑚礁域水産物の漁獲実態、市場における需要動向を調査して水産物の流通フローを明らかにすることを目的とした。その上で、これらの漁獲物の販売先としてのツーリズム産業の価格の有効性を検証し、小規模漁業者の生計向上のアプローチとしての可能性を検討することを目的とした。4つの地域の中から、現地行政機関からの情報（登録漁業者数、珊瑚礁・水揚地・漁港の存在、公設市場や観光地からの距離など）に基づき各地域3～4のbarangayや村で、各種数量データとともに半構造化面接手法により質的データの収集を行った。収集したデータはSPSS16.0によって統計分析を行った。きわめて多様な魚種が販売されていることが分かったが、その中で一部の特定魚種は高価格で観光客に販売されていた。漁業者や販売業者は、市場以外に消費者に直接販売することで販路の多角化を図っているが、現状では観光客への直接販売機会は限られている。

沿岸漁業者の販売先確保の困難性に関しては、伝統的でインフォーマルな金融システムである *suki system*（*suki* はフィリピンでの呼称：漁業者に操業資金を前貸しする商人とその資金供給を受ける漁業者の間の関係）の存在が背景にある。*suki system* の下にある漁業者は、借金の返済のために、商人の言い値（通常は低価格）で漁獲物の全てを商人に売り渡さなければならず、常に借金を背負った状態に置かれている。このような状況は先行研究でも指摘されているが、多様な魚種を漁獲する珊瑚礁域の漁業においては、市場を通じた分析は困難とされてきた。本研究では、珊瑚礁域漁獲物の市場構造を明らかにした上で、高価格が期待できる観光客を相手とした漁獲物販売の可能性を追求することで小規模漁業者の生計向上を実現しうることを示した。詳細な現地調査を通じて、従来明らかにされてこなかった珊瑚礁域水産物の市場構造を明らかにし、その理解の下に小規模漁業者の生計向上の可能性を示した点で国内外の研究水準に照らし、当該研究分野における学術的意義、新規性、独創性及び応用価値を有しており、博士の学位に値することを審査委員一同確認した。

最終試験の結果要旨：

論文公開発表に引き続き2020年2月18日に行われた。その後、審査委員一同出席の下、合同セミナーへの出席60時間を確認、学位論文及び公表された学術論文は英語で書かれており、外国語の学力については問題ないと判断した。専門知識に関しては、公開発表会及び予備審査会における質疑応答を通じて、十分であると確認した。中間発表は2019年8月8日（13時～13時40分：5-410室）に行われていることを確認した。また、大学院海洋科学技術研究科が指定した研究者倫理教育を修了していることを確認した。以下の学術論文（Shielameh Peralta-Milan, Baba, Salmo, Linking marketing of reef-sourced seafood with tourism: Potential for improving fisheries management, Philippine Science Letters）が退学後1年以内に受理される見込みであるため、学位論文審査要項第22条（学位授与の特例）の適用条件を充たしていると判断した。その後、投稿論文が受理、公表されたことから、2021年2月19日に公表学術論文を審査委員一同で確認し、学位授与を認める判断をした。